平成25年６月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年６月14日

上 場 会 社 名	株式会社オウケイウェイヴ	上場取引所	名
コ ー ド 番 号	3808	URL	http://www.okwave.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)兼元　謙任	
問合せ先責任者	(役職名)取締役経営管理本部長	(氏名)野崎　正徳	(TEL)03(5793)1195
四半期報告書提出予定日	平成25年６月14日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年６月期第３四半期の連結業績（平成24年７月１日～平成25年３月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年６月期第３四半期	1,665	47.8	△77	―	△74	―	△322	―
24年６月期第３四半期	1,126	△9.1	91	△32.1	94	△30.0	69	△34.6

（注）　包括利益　　25年６月期第３四半期　△319百万円(―)　　24年６月期第３四半期　65百万円(△35.6%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年６月期第３四半期	△37　44	―
24年６月期第３四半期	8　13	8　09

当社は、平成24年７月１日付で株式１株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
25年６月期第３四半期	2,307	1,682	72.8	195　10
24年６月期	2,336	2,018	86.1	234　10

（参考）　自己資本　　25年６月期第３四半期　1,679百万円　　24年６月期　2,012百万円

当社は、平成24年７月１日付で株式１株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり純資産額を算定しております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年６月期	―	0　00	―	250　00	250　00
25年６月期	―	0　00	―		
25年６月期(予想)				2　50	2　50

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
当社は、平成24年７月１日付で株式１株につき100株の株式分割を行っております。

３．平成25年６月期の連結業績予想（平成24年７月１日～平成25年６月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	2,749	79.4	△82	―	△79	―	△327	―	△38　00

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　１社（社名：株式会社ブリックス）　　、　除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

（注）　詳細は、（添付資料）６ページ「２．サマリー情報(注記事項)に関する事項　（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年６月期３Ｑ	8,607,000株	24年６月期	8,598,500株
②　期末自己株式数	25年６月期３Ｑ	―株	24年６月期	―株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年６月期３Ｑ	8,605,398株	24年６月期３Ｑ	8,597,282株

当社は、平成24年７月１日付で株式１株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）５ページ「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 5
2. サマリー情報（その他）に関する事項 …… 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 6
3. 四半期連結財務諸表 …… 7
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 9
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… 11
(4) セグメント情報等 …… 11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12
(6) 重要な後発事象 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

①全般的概況

当第３四半期連結累計期間(平成24年７月１日～平成25年３月31日)におけるわが国経済は、輸出環境の改善やマインドの改善にも支えられ、次第に景気回復へ向かうことが期待されておりますが、引き続き、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクもあります。

当社は、株式会社ブリックスを平成24年10月に子会社化いたしましたが、当四半期の決算作業の過程で、株式会社ブリックスの取引先である株式会社ワールドマーケティングに対し、多額の売掛金の未回収残高があることが判明いたしました。このことから、速やかに弁護士並びに公認会計士の協力も得て社内調査を行ったところ、株式会社ワールドマーケティングは株式会社ブリックスが実質的に経営を支配していることが明らかになりました。

上記に伴い、さらに関連する取引調査を行ったところ、株式会社ブリックスは、当社が子会社化を検討する際に提出を受けた財務諸表等において負債の過少計上等を行っており、これらは株式会社ブリックスが増資や借入を円滑に進めることを目的として、株式会社ワールドマーケティングとの間で不適切な会計処理を行っていたものであることが判明しました。

この不適切な会計処理を修正したことに伴い、株式会社ブリックスは平成24年９月30日現在で債務超過の状態にあり、企業価値が毀損していたことから、株式会社ブリックスへの当社投資額とこれに対応する株式会社ブリックスとの資本の相殺消去にあたって発生した差額、およそ247百万円を関係会社投資損失といたしました。

株主・投資家の皆様、市場関係者の皆様及びお取引先様をはじめ関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけし、心より深くお詫び申し上げます。

株式会社ブリックスを除いた連結部分におきましては、売上高は「OKWave」のPV数が好調に伸長したことやソーシャルコマースサービスの売上高が増収したことから、堅調に推移しております。

利益につきましては、市場動向を鑑みた結果、引き続き、既存サービスの機能拡充や現在注目度の高いビッグデータ解析・分析サービスといった新サービスへの投資を積極的に行っていくほか、米国Davia, Inc.からの事業買収をはじめとするグローバル展開に伴う投資を行っていくことが先決と考えたことから減益となっております。

	当第３四半期連結累計期間(千円)	前第３四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	1,665,093	538,293	47.8
営業損失（△）	△77,364	△168,462	―
経常損失（△）	△74,357	△168,769	―
四半期純損失（△）	△322,150	△392,075	―

②事業別の概況

第２四半期連結会計期間において、株式会社ブリックスを子会社化しました。これにより当第３四半期連結会計期間より同社の損益について連結範囲に含めており、「多言語CRM事業」及び「営業アウトソーシング事業」を報告セグメントとして追加しております。

・ポータル事業の概況

ア．ソーシャルメディア(サービス名：OKWave、OKGuide、OKetter、OKWave ありがとう、OKMusic)

ソーシャルメディア領域では、ソーシャルメディアの運営による広告販売を行なっております。

当第３四半期連結累計期間につきましては、Q&Aサイト「OKWave」のメディア力の向上に注力したことからPV数が前期比136％増の175百万PVとなりました。また、「OKWave」内に医療・健康領域を中心に利用者ならびに広告主のターゲットを絞り込んだ専門特化型サイト「ライフデザイン by OKWave」の立ち上げを行い、３月には第１弾となる「てんかん患者の人生を変えるプロジェクト」の提供を開始しました。

ソーシャル多言語コミュニティ「OKWave ありがとう」におきましては海外で人気の高い日本のアニメーション作品との積極的なコラボレーションを進め、「映画ドラえもん のび太のひみつ道具博物館（ミュージアム）」「ドラゴンボールZ 神と神」の映画公開と合わせて「OKWave ありがとう」上で利用できる、両作品特製の「ありがとうメッセージ用キャラクターシール」をユーザ向けに提供し、新規ユーザの獲得、利用機会の拡大に向けた取り組みを展開してまいりました。また、米国でのサービス展開の始動に向け、平成25年４月に米国Davia, Inc.のデジタルグリーティングカード事業を取得いたしました。これによりDavia, Inc.の同事業が有する1,000万人以上の登録会員の獲得と現地での企画・開発体制が構築できたことから、来期のサービス提供に向けサービス構築をしていく予定となっております。

連結子会社株式会社オーケーライフで運営しているソーシャル・ミュージック・サイト「OKMusic」におきましては、ユーザの自作曲からインディーズ・アーティスト、メジャーレコード会社所属アーティストに至るまで1,550万曲以上の楽曲が試聴できます。また、独自取材による記事や有名アーティストのインタビューなどの、最新の音楽ニュースが得られる音楽総合サイトへと発展を遂げています。また、独自取材の音楽ニュースについてはポータルサイト等の外部サイトへの配信も開始しており、そこからさらに「OKMusic」の認知拡大につながっています。

イ．ソーシャルCRM(サービス名：おけったーエンタープライズ、OKCorporation、国際化支援ソリューションOKWave ありがとう)

ポータル事業のソーシャルCRM （※）領域では、創業当時より蓄積してきたQ&A のデータベースを様々な形で企業に貸し出しするサービスの提供を行っております。

当第３四半期連結累計期間におきましては、企業の認知度向上を支援するツール「おけったーエンタープライズ」を活用し、複数の企業を相乗りさせて相乗効果を上げるコラボレーション企画「おけったー新生活応援キャンペーン」を実施しました。また、「OKWave ありがとう」を用いた企業の国際化支援ソリューションの提供も開始しました。

※CRM：カスタマー・リレーションシップ・マネジメント（顧客満足度を向上させるために、顧客との関係を構築することに力点を置く経営手法）

ウ．ソーシャルコマース(サービス名：myFave、Abilie、会員ビジネス)

ソーシャルコマース領域では、一般の方が個人間で知識やスキルを売買できるソーシャルコマースサイト「Abilie」（※）日本マイクロソフト株式会社との共同事業であるショッピングSNS「myFave」及び専門家に１対１で直接質問することができる有料携帯サイトやベストセラー作家の公式有料携帯サイトの運営を行っております。

知識やスキルを売買できる「Abilie」におきましては、ベストセラー書籍などを音声で聴けるオーディオブックを扱う株式会社オトバンクとの連携を本格化させたほか、情報処理試験対策特集を行うなど、一般の方の知識やスキルの売買にとどまらず、専門家や専門知識の販売者の積極的な誘致を図り、売買する知識やスキルの対象を広げています。

「myFave」では正式公開後の半年間で得られたユーザのサイト利用動向や要望をはじめとするマーケティングデータを基にサイトのリニューアルに着手しました。

有料携帯サイトについては、スマートフォンの利用者拡大に合わせて、新たに「イノベーションベースボール」と「クイズ王の雑学塾」をスマートフォンで提供開始し、収益拡大に努めました。

ポータル事業	当第３四半期連結累計期間（千円）	前第３四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	549,417	87,301	18.9
セグメント損失（△）	△84,915	△110,112	―

※「Abilie」は2013年5月21日に「High500（ハイファイブ・ハンドレッド）」にサービス名称の変更を行なっています。

・ソリューション事業の概況

ソーシャルCRM(サービス名：OKBiz)

ソーシャルCRM （ソリューション事業）では、お問合わせを一元管理し、重複するお問合わせを削減することで業務効率化やコスト削減、CS（顧客満足度）向上を図るソリューション製品を主に期間貸しをするクラウドサービスの形式で提供しています。とくに主力製品のFAQ（よくある質問と回答）システム「OKBiz」につきましては、長年にわたって市場シェア1位を維持しています。

当第３四半期連結累計期間につきましては、販路拡大や新規顧客獲得に向けた取り組みを実施してきました。導入企業の協力による定期セミナーの実施や、前期からOKBizとのプロダクト連携を進めてきたアライアンス・パートナーとの共催セミナーを東京に加えて大阪でも実施するなど、新規顧客開拓に注力しています。

ソリューション事業	当第３四半期連結累計期間（千円）	前第３四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	663,549	△1,134	△0.2
セグメント利益	298,203	△39,295	△11.6

・多言語CRM事業の概況

連結子会社、株式会社ブリックスの主要な事業である多言語CRM事業におきましては、24時間365日体制で運営する多言語（現在は英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語の５言語）のコンタクトセンターを運営し、カスタマーサポート業務を提供しています。クライアントとその顧客間のコミュニケーションを、電話を介した通訳、もしくはメールなど即時性が求められる問い合わせの簡易翻訳を通してサポートするというものです。また、クライアントからの依頼によっては、カスタマーサポートを目的としたバイリンガル人材の派遣も提供しております。

当第３四半期連結累計期間におきましては、海外市場に進出する企業からのカスタマーサポート業務の受託ビジネスが伸長しました。特にソーシャルゲーム開発会社における海外ユーザからの多言語メール対応の取引額が大きくなりました。取引先企業数は１年間で175%増（平成23年12月93社、平成24年12月163社）と大幅に進捗しています。

多言語CRM事業	当第３四半期連結累計期間（千円）	前第３四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	299,571	―	―
セグメント利益	69,712	―	―

・営業アウトソーシング事業の概況

営業アウトソーシング事業は、短期・中期的に、顧客企業が必要とする販売スタッフを、業務請負及び派遣契約により労働力を提供して収益向上を支援するのが主たる業務内容です。主な人材請負・派遣の対象分野は、FTTHなど固定通信事業者の個人・法人向け通信サービスの新規ユーザ獲得です。正社員を中心として営業チームを構成していることが特長で、万全の教育体制のもと、クオリティの高い営業活動が可能となっています。また、競合他社がテレマーケティングを中心とする展開であるのに対し、訪問・対面営業を主体とする営業手法をとっており、ここでも、営業活動における品質の違いを生み出すことができます。

当第３四半期連結累計期間におきましては、大手通信キャリアが展開しているSOHO向けの光ファイバー回線の営業展開が大きく伸長しました。平成24年８月時点では首都圏のみの展開でありましたが、同年10月以降、北関東や東北・関越エリアにも拡大し、ここにおける新規ユーザ獲得業務が増大しました。

営業アウトソーシング事業	当第３四半期連結累計期間（千円）	前第３四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	152,554	―	―
セグメント利益	11,968	―	―

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(ア)資産

当第３四半期連結会計期間末における資産残高は、主に現金及び預金の減少により2,307,244千円（前連結会計年度末比29,331千円減少）となりました。

(イ)負債

当第３四半期連結会計期間末における負債残高は、主に新規連結子会社の増加に伴う買掛金、未払金及び未払費用の増加により625,080千円（前連結会計年度末比307,488千円増加）となりました。

(ウ)純資産

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金の減少により1,682,163千円（前連結会計年度末比336,820千円減少）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、（１）連結経営成績に関する定性的情報　①全般的概況に記載した理由から、平成24年10月23日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細は、平成25年６月14日付開示資料「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第２四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した株式会社ブリックスとその子会社である株式会社ワールドマーケティングを連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものはありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年７月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第３四半期連結累計期間の売上総利益、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,130,637	800,356
受取手形及び売掛金	219,172	423,358
有価証券	300,000	300,000
その他	79,173	82,434
貸倒引当金	△8,660	△854
流動資産合計	1,720,323	1,605,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	66,558	66,558
減価償却累計額	△24,298	△33,417
建物及び構築物（純額）	42,259	33,141
工具、器具及び備品	408,279	424,838
減価償却累計額	△319,895	△334,595
工具、器具及び備品（純額）	88,383	90,243
有形固定資産合計	130,643	123,384
無形固定資産		
ソフトウエア	131,372	197,431
ソフトウエア仮勘定	75,184	80,359
のれん	13,681	1,407
その他	12,756	14,898
無形固定資産合計	232,995	294,097
投資その他の資産		
投資有価証券	50,583	40,653
その他	241,114	281,994
貸倒引当金	△39,082	△38,180
投資その他の資産合計	252,614	284,467
固定資産合計	616,253	701,950
資産合計	2,336,576	2,307,244

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,074	124,486
未払金及び未払費用	174,012	257,696
未払法人税等	20,531	755
短期借入金	－	102,221
1年内返済予定の長期借入金	7,188	3,900
賞与引当金	－	6,000
その他	52,189	93,210
流動負債合計	272,995	588,270
固定負債		
長期借入金	16,172	4,520
資産除去債務	28,425	32,290
固定負債合計	44,597	36,810
負債合計	317,592	625,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	966,521	969,439
資本剰余金	936,321	939,239
利益剰余金	122,255	△221,391
株主資本合計	2,025,098	1,687,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△62	△17
為替換算調整勘定	△12,089	△8,007
その他の包括利益累計額合計	△12,152	△8,025
新株予約権	3,308	1,531
少数株主持分	2,729	1,370
純資産合計	2,018,983	1,682,163
負債純資産合計	2,336,576	2,307,244

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成24年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	1,126,800	1,665,093
売上原価	537,216	1,098,870
売上総利益	589,584	566,222
販売費及び一般管理費	498,485	643,586
営業利益又は営業損失（△）	91,098	△77,364
営業外収益		
受取利息	1,384	885
為替差益	913	9,514
貸倒引当金戻入額	900	990
雑収入	701	2,178
営業外収益合計	3,900	13,567
営業外費用		
支払利息	104	1,366
雑損失	482	9,194
営業外費用合計	586	10,560
経常利益又は経常損失（△）	94,412	△74,357
特別利益		
投資有価証券売却益	2,126	－
新株予約権戻入益	－	473
特別利益合計	2,126	473
特別損失		
固定資産除却損	1,740	5,823
投資有価証券評価損	457	－
投資有価証券売却損	1,895	－
関係会社投資損失	－	247,362
特別損失合計	4,093	253,185
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	92,445	△327,068
法人税、住民税及び事業税	35,916	2,718
法人税等調整額	△12,539	△6,277
法人税等合計	23,376	△3,559
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	69,069	△323,509
少数株主損失（△）	△855	△1,359
四半期純利益又は四半期純損失（△）	69,924	△322,150

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成24年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	69,069	△323,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	45
為替換算調整勘定	△3,801	4,081
その他の包括利益合計	△3,801	4,126
四半期包括利益	65,267	△319,382
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,123	△318,023
少数株主に係る四半期包括利益	△855	△1,359

（３）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年７月１日　至　平成25年３月31日）

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年７月１日　至　平成24年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ポータル事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	462,116	664,683	1,126,800	―	1,126,800
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	462,116	664,683	1,126,800	―	1,126,800
セグメント利益	25,197	337,498	362,696	△271,597	91,098

（注）１　セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年７月１日　至　平成25年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ポータル事業	ソリューション事業	多言語CRM事業（注）３	営業アウトソーシング事業（注）３	計		
売上高							
外部顧客への売上高	549,417	663,549	299,571	152,554	1,665,093	―	1,665,093
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	2,500	2,217	―	4,717	△4,717	―
計	549,417	666,049	301,789	152,554	1,669,811	△4,717	1,665,093
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△84,915	298,203	69,712	11,968	294,969	△372,333	△77,364

（注）１　セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３　第２四半期連結会計期間において、株式会社ブリックス及び株式会社ワールドマーケティングを子会社化しました。これにより当第３四半期連結会計期間より同社の損益について連結範囲に含めており，「多言語CRM事業」及び「営業アウトソーシング事業」を報告セグメントとして追加しております。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

第２四半期連結会計期間において、新たに株式を取得した株式会社ブリックスとその子会社である株式会社ワールドマーケティングを連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第３四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「多言語CRM事業」セグメントにおいて145,929千円、また、「営業アウトソーシング事業」セグメントにおいては76,248千円、それぞれ増加しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年７月１日　至　平成25年３月31日）

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

重要な事業の譲受

当社の米国子会社OKWave, Inc.は、平成25年4月1日に米国Davia, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、CEO：Logan Deans）から、バースデーカレンダーアプリなどのデジタルグリーティングカード事業を譲り受ける契約を締結した。

１．目的

取得するサービスはオウケイウェイヴが運営する20カ国語対応のソーシャル多言語コミュニティ「OKWave ありがとう」（http://arigato.okwave.com/）などとの親和性が高く、両サービスとの連携を進めることで、「OKWave ありがとう」のさらなる活性化を図るとともに、米国を拠点に日本を含む海外へサービス展開を進めていく考えです。

２．譲り受ける相手会社

Davia, Inc.

３．譲り受ける事業の内容

バースデイカレンダーなどのウェブサイト(Davia.com)及び有料アプリなどのデジタルグリーティングカード事業

４．譲り受ける資産・負債の額

Davia, Inc.から譲り受ける重要な資産・負債はありません。

５．譲受の時期

平成25年４月１日

６．譲受対価

500千USドル

※上記にはアドバイザリー費用等の付随費用は含まれておりません。